

利賀っ子だより



R4. 2. 17

○ 利賀は、春と冬は一緒になるんだ

先日の朝の会で「節分、立春、暦の上では春」という話題で子供たちに季節の話をしたところです。校内のあちこちには、お雛様が飾られています。こんなにたくさんのお雛様が学校にあることにも地域の方々の学校に対する思いを強く感じます。

子供たちは、お雛様飾りについてはオルゴールと一緒に「うれしいひなまつり」を歌ったり、自分の家のお雛様飾りの話をしたり、保育園の頃のひな祭りの思い出を話したりして楽しんでいます。「家にはひな人形がない（男の子の兄弟だけなので）から、うきうきする。」と言って人形を眺めている子供もいました。



【児童玄関】



【保健室前】



【ランチルーム】



【職員玄関】



【図書室】

春が近づいていると感じていた矢先、南砺市には、昨日から大雪、雷、着雪注意報が出ています。子供たちは、登下校の際、雪に足をとられながら歩いたり、朝には除雪作業をしたりと冬の生活に戻りました。

除雪をした後、山村留学生の一人が、「利賀は、春と冬は一緒になるんだ。」と一言。何とも詩的な素敵な言葉です。

小躍りしたくなるような春と凛とした冬が一緒になる。進級に向けてのわくわくする気持ちと学年のまとめを確実にしていく、そんな子供たちの今の様子を言い当てた言葉でもあったと思います。



【2月16日の下校の様子】

(高田 公美)